

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

## 歯ブラシによる食道穿孔 (No.34 歯ブラシによる口腔内外傷の類似事例1)

事例	年齢：1歳11か月 性別：男 体重：11.7 kg 身長：88 cm	
傷害の種類	転倒，刺傷	
原因対象物	子ども用歯ブラシ (図1) (長さは15.5 cm)	
臨床診断名	食道穿孔，縦隔炎，縦隔気腫，皮下気腫	
医療費	4,075,660円 (2015年6月4日までの医療費)	
発生状況	発生日・時刻	2015年 4月 22日 午後 8時 30分頃
	発生時の詳しい様子と経緯	<p>上記の時刻ころ，自宅1階の寝室に本患児，母，兄(4歳)の3人がいた。父と弟(4か月)の2人は2階のリビングで食事をしていた。本患児は，寝室近くの洗面台に歯ブラシを取りに行き，口にくわえたまま走って寝室に戻ってきたところ，布団の上で転倒した。歯ブラシは布団の上に転がっており，歯ブラシの先には少量の出血痕がみられた。転倒直後は声が出ず，2-3分経過後に，普段とは違う，唸るような泣き方で啼泣した。その後も不機嫌が続いたため，午後11時頃に両親に連れられて当院救急外来を受診した。</p> <p>受診時，右扁桃の出血，左頸部腫脹，軽度の呼吸困難を認めた。家族の意向もあり，その日は検査をせずに帰宅した。受傷の翌日の朝，呼吸困難が増悪し，近医小児科を</p>
治療経過と予後	<p>受診時，意識レベルは JCS 20，体温：37.7℃，呼吸数：50/分，血圧：118/72mmHg，脈拍：195/分，SpO2：96% (酸素マスク 6l/分下)，左頸部から左前胸部を中心に皮下気腫が認められた。胸部単純 CT 写真で広範な縦隔気腫を認め (図2)，血液検査で WBC 13390/<math>\mu</math>l，CRP 5.42mg/dl，PCT (プロカルシトニン) 71.03ng/ml，血液培養で PSSP (ペニシリン感受性肺炎球菌) 陽性であった。</p> <p>当院 ICU に収容し，絶飲食の上，酸素投与，輸液，CTRX (セフトリアキソン) + CLDM (クリンダマイシン) の静注と免疫グロブリンの投与を開始し，DIC も合併したため rTM (トロンボモジュリン) 製剤，AT (アンチトロンビン) 製剤，FFP (新鮮凍結血漿製剤) の投与も併用した。入院3日目に呼吸状態が増悪したため気管挿管を施行し，左胸水貯留に対しては左胸腔ドレナージを施行し，MEPM (メロペネム) の追加投与を開始した。入院10日目に Septic shock となり，VCM (バンコマイシン) を追加投与し，中心静脈ラインからカテコラミン投与も併用した。その後も，アルブミン製剤の補充，凝固因子製剤の補充，RCC-LR (赤血球濃厚液) 輸血等を順次施行した。入院15日目の食道造影 (図3) で，上部食道から左胸腔内へ通じる瘻孔が造影され，同日，上部消化管内視鏡検査で食道穿孔 (図4) と診断した。入院16日目に，食道瘻孔閉鎖術を施行した。同日，胸腔ドレーンから Candida albicans 等の真菌が分離され，同日から MCFG (ミカファンギン) 投与を開始した。入院29日目に抜管し，IVH から徐々に経腸栄養に移行した。その後も発熱を繰り返し，治療に難渋した。</p>	

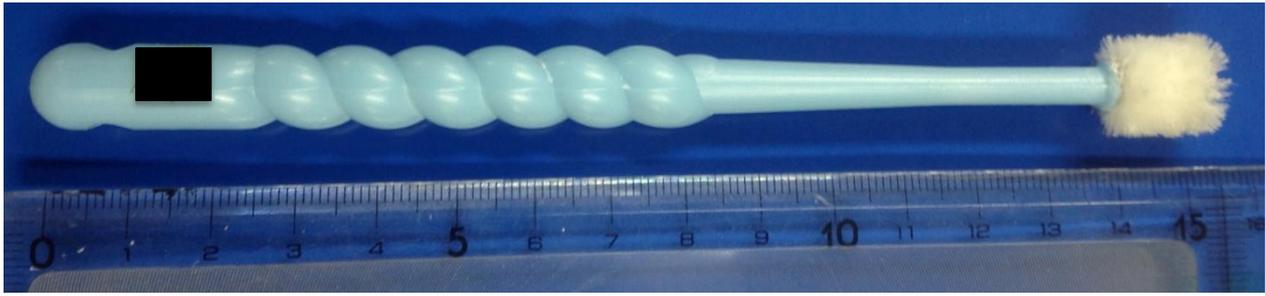


図 1 : 子ども用歯ブラシ

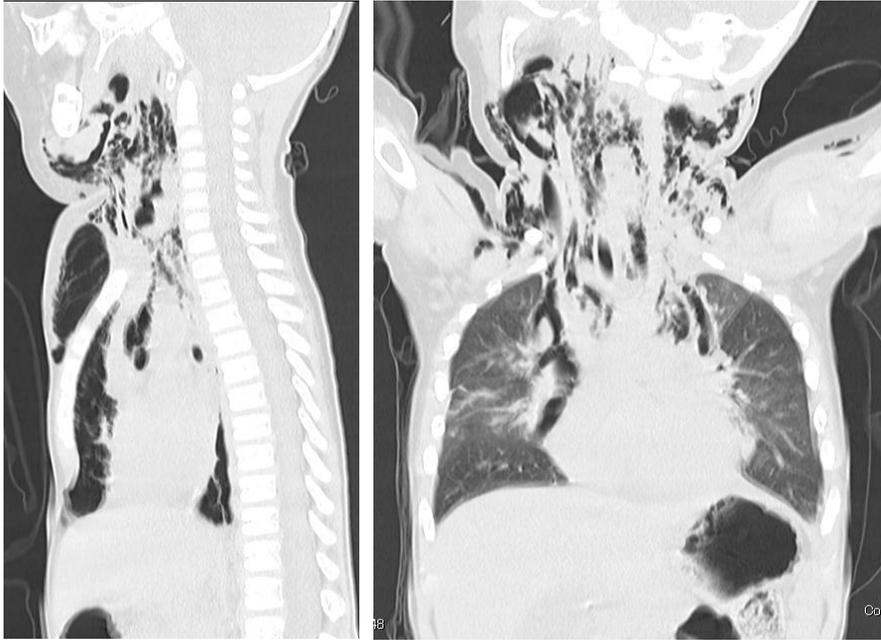


図 2 : 入院時の頸部・胸部 CT 写真 (左 ; 矢状断, 右 ; 前額断)

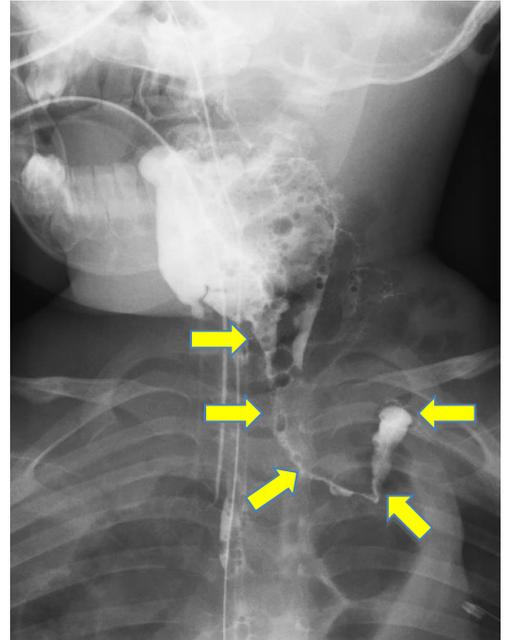


図 3 : 入院 15 日目の食道造影

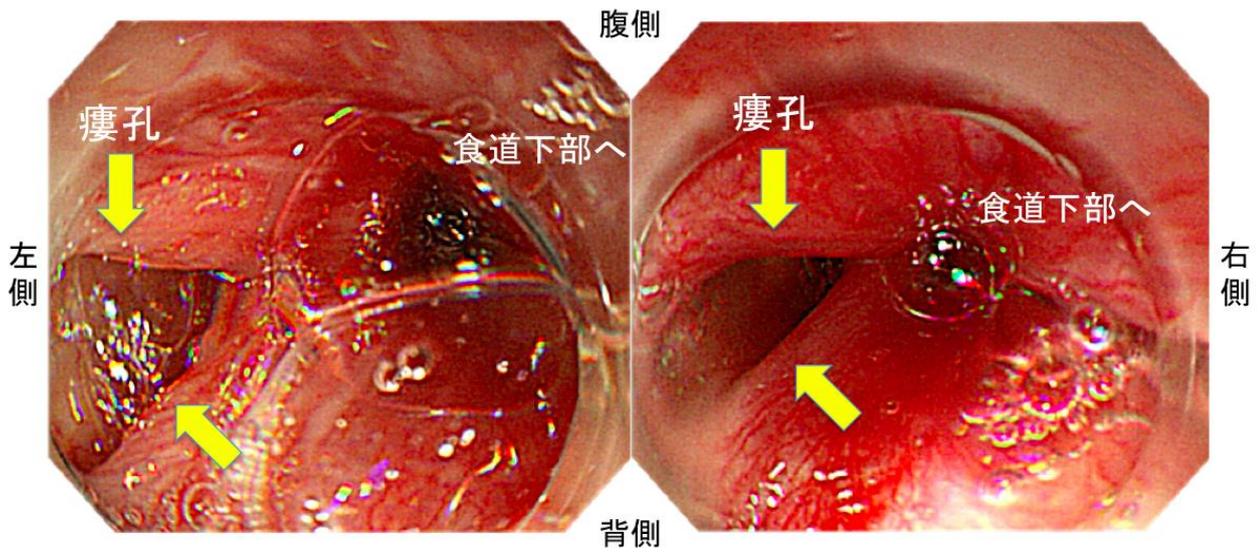


図 4 : 入院 15 日目の上部消化管内視鏡検査